

□ 静岡県沼津市の概要

人 口： 2 0 5, 3 0 6 人 （平成 2 4 年 3 月 1 日現在）

世帯数： 8 7, 4 3 7 人 （平成 2 4 年 3 月 1 日現在）

面 積： 1 8, 7 1 2 h a

海 抜： 0 m ~ 1, 3 8 0 m

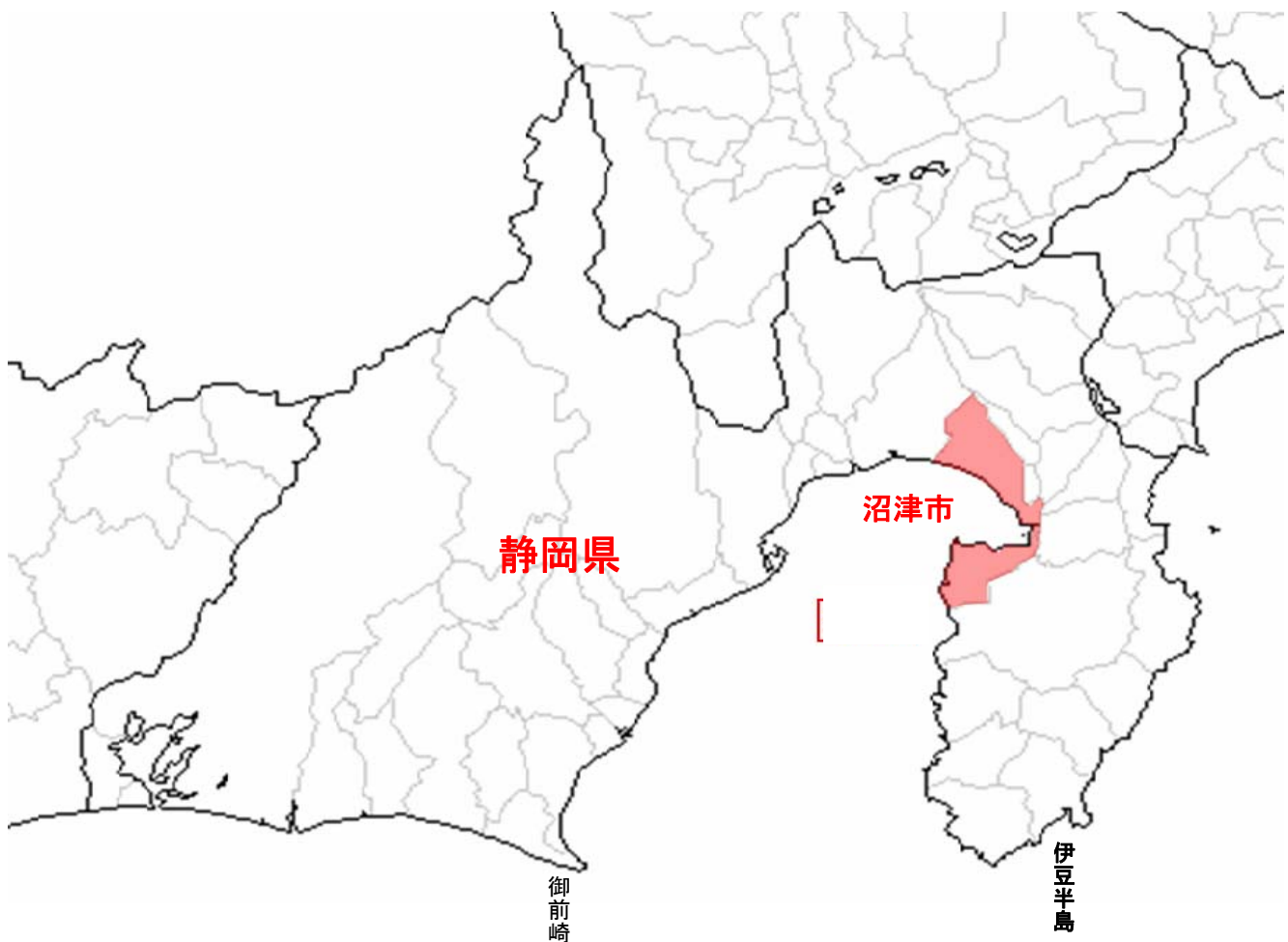
[概 要]

地理的条件：首都圏 100km 圏に位置する静岡県東部にある。

交通要件：道路網としては伊豆方面への交通拠点であり、さらに市内には J R 東海道本線
沼津駅、片浜駅、原駅に加え、御殿場線大岡駅がある。

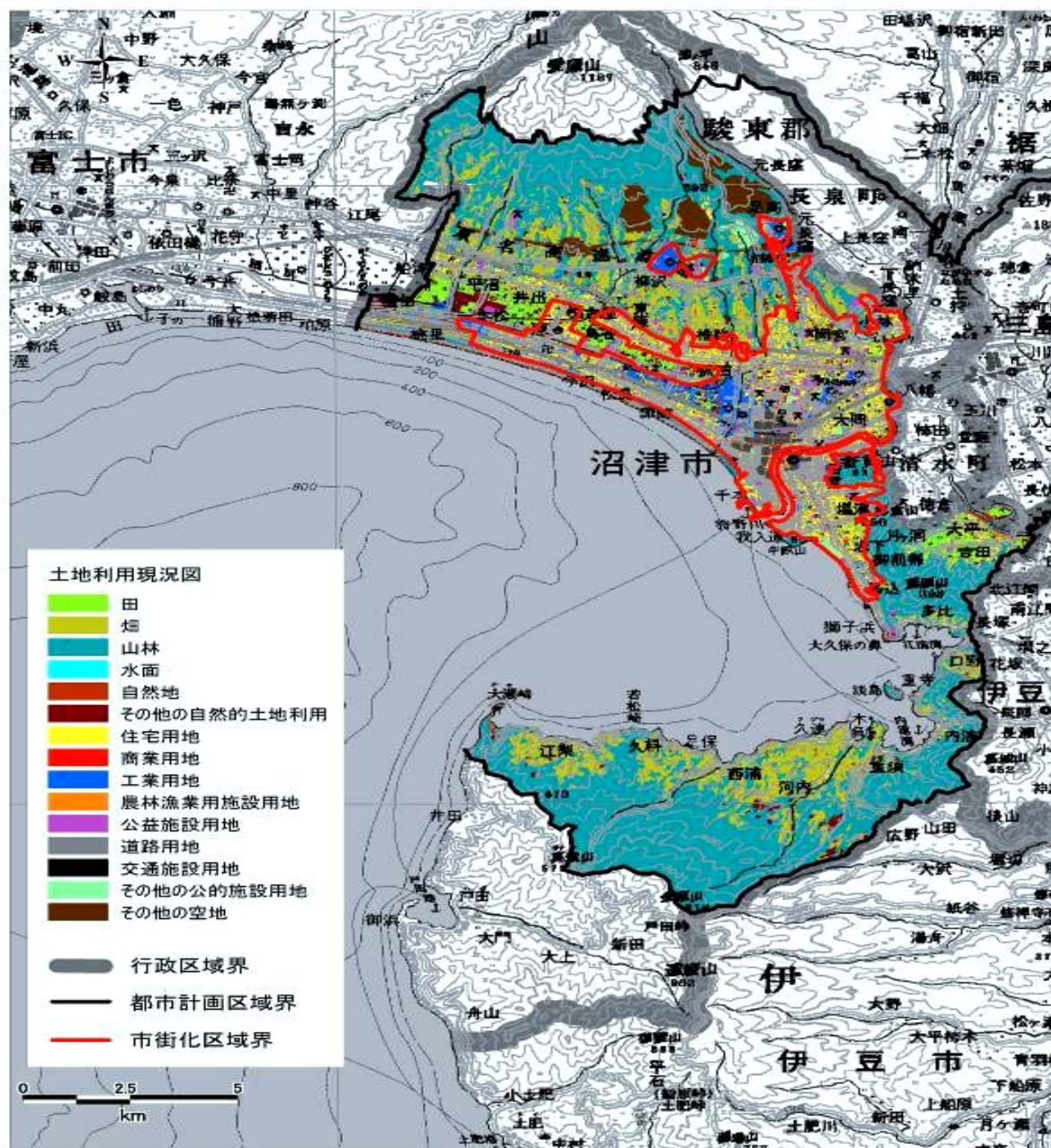
自然環境：千本松原、香貫山、狩野川、駿河湾、海越しの富士山、富士箱根国立公園

産 業：お茶やみかんの農産物、観光、商業、先端技術など産業構造は、バランスがとれている。



(2) 土地利用の現状

① 市街化区域、市街化調整区域



■市街化区域・・・市中央の平坦地を中心に指定 宅地 約70%、田畑 約7%

人口密度は87.8人/ha

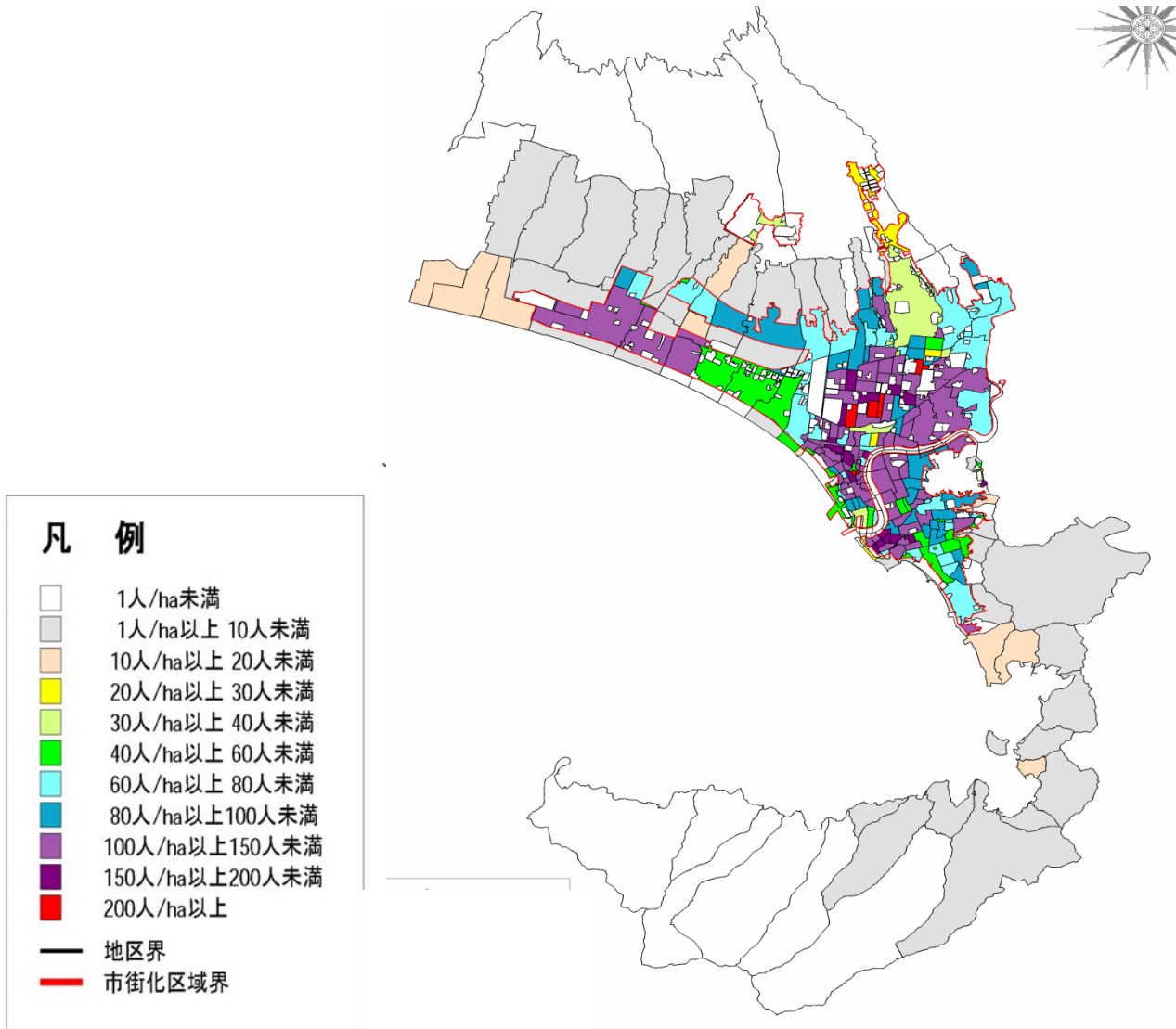
■市街化調整区域・・・山林 約54%、田畑 約24%、宅地 約6%

区域区分

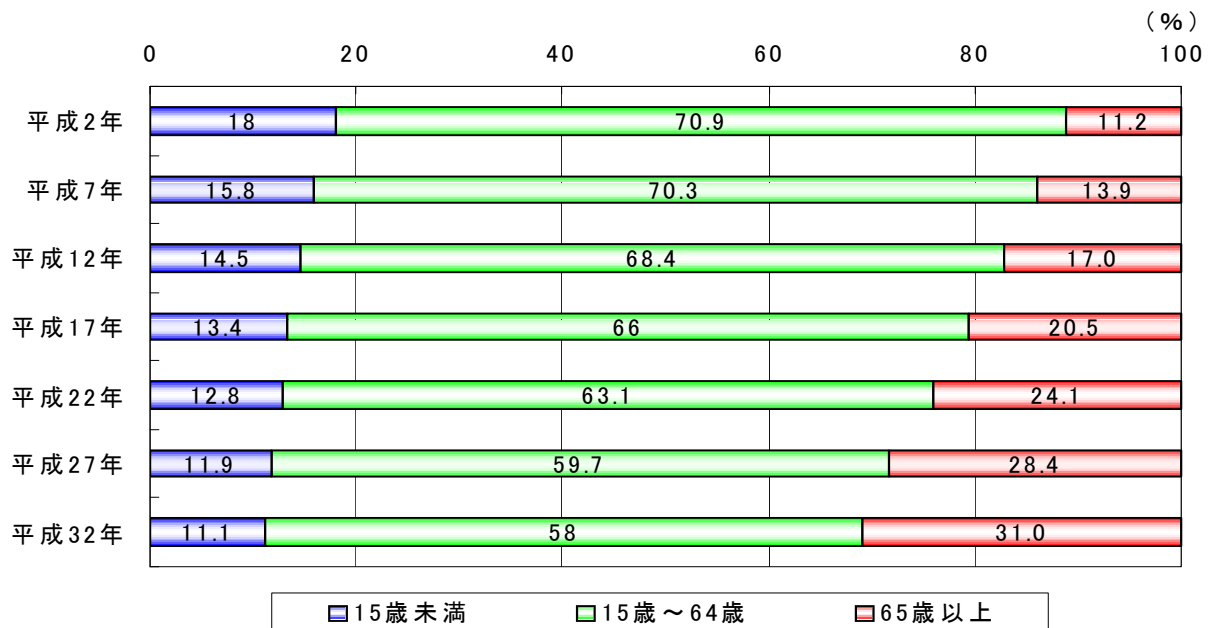
		面積	構成比
都市計画区域		約 13,871ha	—
	市街化区域	約 3,158ha	22.8%
	市街化調整区域	約 10,713ha	77.2%

② 地区別人口分布（平成 17 年度）

沼津駅周辺の中心市街地の人口減少に対し、郊外は人口増加傾向であり、都市が拡散し、低密度化する傾向にある。



③ 年齢別人口の推移



緊急地震・津波対策アクションプラン

3つの柱

- 1 緊急避難体制の強化
- 2 緊急避難施設の整備
- 3 減災意識の高揚

1 緊急避難体制の強化

津波避難訓練対象区域の設定

安政東海大地震（1854年）の津波浸水域を含む単位自治会を「津波避難訓練対象区域」と定め、津波対策、津波避難訓練を強化

2 緊急避難施設の整備

(1)津波避難ビルの指定

津波避難訓練対象区域内に約200棟を指定

(2)津波避難路の整備

静浦地区以南に177路線を指定

(3)津波避難看板の更新・整備

①海拔表示板 約1,200枚

②津波避難路入口の案内看板 約160枚

③津波避難ビル表示看板 約200枚

④津波避難路上の海拔表示板 約400枚

3 減災意識の高揚

- (1)津波ハザードマップの改訂
地区版、全市版を全世帯に配布済
- (2)地震・津波対策マニュアルの作成
全世帯に配布済
- (3)津波避難計画書の作成
津波避難訓練対象区域の地区別に計画書
を作成予定

4 その他の取り組み

(1)災害時相互応援協定の締結

平成23年度新たに3都市

- ・ 富山県高岡市（11月14日）
- ・ 東京都江東区（12月26日）
- ・ 滋賀県長浜市（1月17日）

(2)避難地の再編・避難所の指定

①避難地の再編（見直し）

②避難所の指定（明確な場所の指定がなかったため）

公立学校を中心に48ヶ所を指定

5 今後の課題

避難困難地区の対応

- ①津波避難ビルの追加指定
- ②津波避難路の整備・改修
- ③人口高台の整備検討